

2026年4月10日  
アジア航測株式会社

## 経済産業省・東京証券取引所による「DX注目企業 2026」に選定

- DX への積極的な取り組みが評価され、3年連続・通算4回目の選出 -

アジア航測株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：畠山 仁、以下「当社」）は、経済産業省、東京証券取引所および独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が共同で発表した「デジタルトランスフォーメーション（DX）銘柄」において、「DX注目企業 2026」に選定されました。当社の選定は、2022年、2024年、2025年に続き通算4回目となり、3年連続の選出となります。

当社グループは、長期ビジョン 2033 として「空間情報技術で社会をつなぎ、地球の未来を創造する」を掲げ、その第1フェーズとして策定した中期経営計画 2026 において、「サステナブル経営」と「AAS-DX（Asia Air Survey -Digital Transformation）」を経営の根幹に位置付けています。

「AAS-DX」の全体方針として、2023年に「AAS-DX5か年計画（以下「本計画」）」を策定しました。本計画では、教育施策等による『意識改革』、組織学習を通じた文化の醸成を目指す『仕組みづくり』、既存技術の高度化や新技術の創出に取り組む『技術革新』の3つを柱として、全社的なDXを推進しています。

近年の生成AIの急速な普及により、当社を取り巻く事業環境は大きな変革期を迎えています。当社では、2024年4月より全社的な生産性向上を目的として、アジア航測版の社内生成AIである『αGeAI（アルファ・ジーイーエーアイ）』を導入し、正社員の約9割が利用しています。

さらに、生成AIの活用は社内にとどまらず、2025年4月には、空間情報技術、ロボット、AIを融合した「センシングロボット S1er」としての取り組みを開始しました。また、当社の自治体向け統合型GISと生成AIを組み合わせた商品の開発など、空間情報技術×生成AIによる新たなソリューションの提供を予定しています。

加えて、2025年12月には、これまでのAAS-DXの取り組みを体系的に整理した「AAS-DX白書2025」を当社ウェブサイトにて公開しました。あわせてご参照ください。

当社グループは今後も、社内外のサービスや技術とのシナジーを最大化する DX 施策を推進し、持続的な企業価値の向上と社会課題の解決に貢献してまいります。

#### ■関連リンク

- ・ アジア航測の AAS-DX 白書 2025 : [https://www.ajiko.co.jp/doc/aasdx\\_wp2025.pdf](https://www.ajiko.co.jp/doc/aasdx_wp2025.pdf)
- ・ アジア航測、ロボット SI サービスに向けた取り組みを開始 :  
[https://www.ajiko.co.jp/news\\_detail/1607](https://www.ajiko.co.jp/news_detail/1607)

#### ■アジア航測株式会社について

1954 年設立。自社航空機を保有・運航し、最先端の計測技術や AI 等を用いた解析技術を活かして、国土保全や社会インフラのマネジメント、行政支援サービス等、空間情報コンサルタントとして幅広く事業を展開しています。地震や豪雨被害等の大規模災害が発生した際にはその強みを生かし、迅速に空中写真撮影及び現地調査を行い、被害状況について独自技術を用いた情報公開や関係機関への情報提供を行っています。

<https://www.ajiko.co.jp/>

以 上

#### 【お問い合わせ先】



**アジア航測株式会社**

<https://www.ajiko.co.jp/>

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-2-2

経営戦略本部 経営企画部（広報）

E-mail : [aas-prteam@ajiko.co.jp](mailto:aas-prteam@ajiko.co.jp)